

## 平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	廃校・空き家と耕作放棄地を活用した田舎体験プロジェクトによる都市農村交流と人口定住
対象地域	山口県下関市菊川町豊東東部 縦の木・道市・轡井集落
活動概要	<p>下関市菊川町の山間谷間に位置する縦の木・道市・轡井集落は、人口145人、55世帯の小規模集落で、道路整備により下関市中心市街地まで車で約25km、美祢西IC、小月ICまで車で7～8分と都市生活者にとっては比較的近距離にある自然豊かな美しい田舎である。一方、集落の高齢化率は47.5%と高く、人口減少・高齢化が進み、空き民家や担い手不足による耕作放棄地が目立っている。平成20年3月に地区内唯一の豊東小学校轡井分校が廃校となり、コミュニティの活力低下が大きな課題となっている。また、現在下関市生活バスが定期運行しているが、この地区は、平成20年6月から予約制運行に移行し、運賃も大幅な値上げとなるなど、将来の交通の便確保も危ぶまれる。このような状況の中、轡井分校に通学した地区(縦の木・道市・轡井集落)住民有志で平成19年6月「貴和の里につどう会」を設立した。本活動では、廃校と周辺に点在する空き家及び耕作放棄地を活用した田舎体験プロジェクトを実施し、活動拠点(廃校)から集落全体へと交流圏域を拡大することにより、住民参加による活気にあふれた田舎空間を創生するとともに、Uターンを受け皿づくりと人口定住を促進することを目的としている。</p>
今年度の主な取組	<p>廃校を利用して都市住民に田舎暮らしを体験してもらう「地域塾」の実施や、集落における空き家や耕作放棄地の現況調査等の実施を通じて、空き家や耕作放棄地の有効活用の方角性について検討する。</p> <p>①「地域塾」を定期的に開講し、参加者へのアンケートを通じて都市住民のニーズを把握する。</p> <p>②集落における空き家及び耕作放棄地の実態調査と、所有者への貸出意向の聞き取り調査を実施する。</p> <p>③以上の活動の成果を踏まえ、空き家を活かした宿泊体験や、耕作放棄地を再生する棚田オーナー制について検討を行う。</p>
活動結果	<p>地域塾の開講と参加者のアンケート収集と意向調査については、4回開講したが周知の方法を工夫すればもっと多くの参加者を得られることを実感できた。</p> <p>空き家の実測調査は予定どおり実施し、貸出可能な1戸を借り上げ、使用可能な状態まで修復できた。</p> <p>耕作放棄地の実態調査も山口大学工学部の学生の協力を得て専門的なマップを作成し、航空写真との照合も出来た。貸出の意向調査も地区住民の協力を得て全戸の調査を終えることができ、貸出の了解が得られたところについては、草刈りと耕地を行ったが、棚田オーナー制の検討については、具体的な結論には至っておらず今後の課題となっている。</p>

<p>当初予想していなかった効果</p>	<p>住民の意識喚起と協働の盛り上がりがあり、貴和の里に集う会へ住民の80%以上の入会があった。また、町内外の9団体が本事業への参画があり、活動を盛り上げて頂いた。</p>
<p>実施状況(写真)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【写真】 地域塾(稲刈り&amp;はぜ干し)      耕作放棄地の実態調査</p>
<p>応募団体名</p>	<p>貴和の里につどう会</p>
<p>リンク</p>	
<p>部局/担当者名</p>	<p>事務局/岡本 雅</p>
<p>連絡先</p>	<p>TEL083-287-1096 qqfw3u59@dolphin.ocn.ne.jp</p>
<p>推薦市町村名</p>	<p>下関市</p>